

## 『離島医療のハンディを克服するクリニックの生産性向上』

中村胃腸科内科は令和元年7月に宮古島で開業しました。

健康診断・人間ドック・胃腸科内科・一般内科のクリニックです。

理念は1. 心が通う診療 2. 安心安全な検査 3. 地域に密着した医療

ミッションは 『胃がん、大腸がんで亡くなる人を減らす。』です。

昨年は胃カメラ 1078 件 大腸カメラ 435 件施行しました。

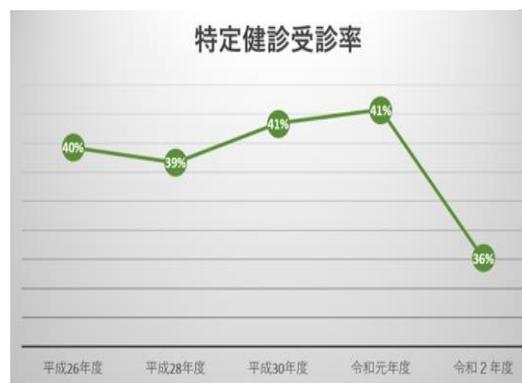
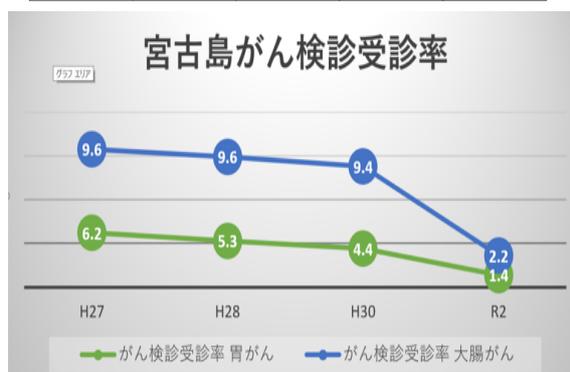
宮古島市の現況：2021年1月宮古島市の総人口は5万5千人でそのうち65歳以上の高齢者は25.8%をしめ、人口の3.9人に1人が65歳以上、7.4人に1人が75歳以上となっています。**下記資料の通り**、データでは県内11市ランキングでメタボ、血圧等がワースト**1**の項目を男女ともに獲得しているにも関わらず、**特定健診及びがん検診の受診率が低いので、今後も宮古島市において地域医療・健診の需要は益々増大してくることが予想されます。**

宮古島市〈大人のからだ〉より

県内11市 ランキング	男性		女性	
	H22	H26	H22	H26
メタボ	1位	1位	6位	2位
肥満	1位	1位	2位	1位
血圧	1位	1位	1位	1位
糖尿病	2位	1位	6位	6位
コレステロール	3位	2位	1位	1位
高尿酸血症	2位	2位	1位	2位

宮古島市の死亡の原因

- 1位 がん (44.2%)**
  - 2位 心臓病 (29.5%)**
  - 3位 脳疾患 (14.9%)**
  - 4位 糖尿病 (3.2%)**
- 合計91.8%**



**胃がん、大腸がんの検診受診率が低いこと**  
でがんによる死亡率が高い。コロナ禍でさらに減少。

特定健診の受診率が低くコロナ禍でさらに低下。  
セミナー、メディアを活用して啓蒙活動を行いました。  
当院では健診受診者、外来患者が徐々に増えましたが  
予約を断ることができました。

コロナ禍に伴い宮古島市の令和2年のがん検診、特定健診受診率が特に下がりました。当院では啓蒙活動セミナー、メディアを活用し情報発信を行った結果がん検診、特定健診受診者は増え、更にコロナによる発熱外来、予防接種業務等で業務が圧迫され開業して2年しか立っていない中、健診の予約を断ることが起こりました。そこで内科クリニックとして沖縄県内では初となる経営革新計画を申請することで効率化をはかり離島においてもハンディを感じず、スムーズに健康診断、人間ドックが受けられるためにITを活用して生産性向上を図り地域医療に貢献できるよう取り組みました。

## 【今回の取り組み①WEB問診】

WEB問診・ネット予約



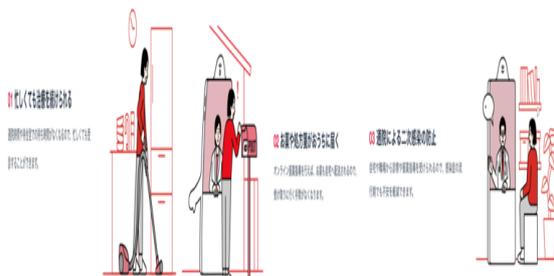
診察のご予約をネットでも受け付けております！

ネット予約はこちら

従来は来診時にドクター及び看護師が聞き取りで行っていた問診をホームページからWEB問診してもらうことで、一般外来及び再来の患者さんの待ち時間の短縮及び回転率を上げる。

## 【今回の取り組み②オンライン診療】

・withコロナは当面続くことが予想されていることから、オンライン診療を始める事で、2次感染の不安の解消、継続的な通院の促進、処方箋の受け取り負担が解消になる事で患者への負担を無くしていく。



## 【今回の取り組み③クラウド型健診システム】

・事務の作業負担を減らす為に今まで手作業で入力していた健診結果の入力を新たにクラウド型健診システムを導入し業務改善を図る

電子データ報告



業務の効率化を進め受け入れ可能な健診の枠数、検査数を増やし癌の早期発見をし  
胃がん、大腸がん死を減らすことで地域医療貢献を実現していきます。

事業パートナー募集 IT、DX 等で医療の効率化につながるような事業パートナーを  
募集しています。

資料・お問い合わせ

中村胃腸科内科 事務長 中村

電話 0980-75-3232 FAX0980-75-3233

ホームページ <https://www.nakaicho.com/>

メール [info@nakaicho.com](mailto:info@nakaicho.com)

住所 〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里 1259-1